



## 平成24年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月4日

上場取引所 東

上場会社名 マルカキカイ(株)

コード番号 7594 URL <http://www.maruka.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹下 敏章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員管理本部長 (氏名) 森 康明

TEL 072-625-6551

四半期報告書提出予定日 平成24年7月9日

配当支払開始予定日

平成24年8月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年11月期第2四半期の連結業績(平成23年12月1日～平成24年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第2四半期	20,066	25.7	1,109	158.2	1,207	142.7	619	106.2
23年11月期第2四半期	15,963	53.4	429	590.3	497	172.2	300	311.8

(注) 包括利益 24年11月期第2四半期 738百万円 (168.5%) 23年11月期第2四半期 275百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年11月期第2四半期	68.35	—
23年11月期第2四半期	33.14	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年11月期第2四半期	24,904	13,214	51.7	1,419.85
23年11月期	23,648	12,549	51.7	1,349.75

(参考) 自己資本 24年11月期第2四半期 12,871百万円 23年11月期 12,236百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年11月期	—	7.00	—	8.00	15.00
24年11月期	—	9.00	—	—	—
24年11月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年11月期の連結業績予想(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	23.3	2,000	89.4	2,150	74.8	1,100	61.9	121.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、(添付資料)3ページ「2. (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、(添付資料)3ページ「2. (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年11月期2Q	9,327,700 株	23年11月期	9,327,700 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

24年11月期2Q	262,359 株	23年11月期	262,222 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年11月期2Q	9,065,385 株	23年11月期2Q	9,065,536 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高の長期化や輸出の減少など、懸念材料はあるものの、緩やかな回復基調で推移いたしました。アジア・中国経済におきましては、輸出の減速や成長率に鈍化はみられますが、堅調でありました。一方、アメリカ経済は、個人消費が持ち直し、企業収益も改善し、緩やかに回復いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、日米中亜の4極体制の構築を推し進めるとともに、基本方針として「創・守・伸」（新事業・新分野・新規顧客の創造、販売ルートの堅持、既存ユーザーとの取引深耕）を徹底してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は20,066百万円（前年同期比25.7%増）、営業利益は1,109百万円（同158.2%増）、経常利益は1,207百万円（同142.7%増）、四半期純利益は619百万円（同106.2%増）となりました。

セグメントの状況は、次のとおりであります。

#### (産業機械)

産業機械部門における設備投資は、国内・海外とも堅調に推移しました。北米では自動車業界向けに大きく伸長し、アジアでも、自動車業界向けに販売が好調に推移したことに加え、タイの洪水復興需要の取り込みもありました。

この結果、当部門の売上高は17,684百万円（前年同期比39.0%増）、営業利益は1,368百万円（同66.1%増）となりました。

#### (建設機械)

建設機械部門を取り巻く環境は、東北地方の震災復旧需要を除くと公共投資は減少しており、厳しい状況で推移いたしました。販売部門は苦戦し、レンタル部門は微増でありました。

この結果、当部門の売上高は2,363百万円（前年同期比26.7%減）、営業利益は109百万円（同56.2%増）となりました。

#### (その他)

当セグメントは、保険部門の業績を示しております。

当部門の売上高は18百万円（前年同期比19.3%増）、営業利益は5百万円（同13.1%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産・負債及び純資産の状況

##### (総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は24,904百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,256百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の減少（前期末比1,298百万円減）、受取手形及び売掛金の増加（同583百万円増）、有価証券の増加（同2,002百万円増）、商品及び製品の増加（同115百万円増）、前払金の減少（同336百万円減）、建物及び構築物の増加（同289百万円増）、建設仮勘定の減少（同174百万円減）によるものであります。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は11,689百万円となり、前連結会計年度末と比較して590百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加（前期末比590百万円増）、未払法人税等の増加（同205百万円増）、未払費用の増加（同31百万円増）、前受金の減少（同221百万円減）によるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は13,214百万円となり、前連結会計年度末と比較して665百万円増加いたしました。これは主に、当第2四半期純利益の計上（619百万円）、剰余金の配当（72百万円）、為替換算調整勘定の増加（前期末比63百万円増）によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成24年1月13日公表した業績予想を修正いたしました。業績予想の修正内容につきましては、平成24年6月20日公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### （会計上の見積りの変更）

当社及び一部の連結子会社が保有する貸与資産の耐用年数は、従来、法人税法に規定する方法と同一の基準により一律6年を採用しておりましたが、過去の使用実態を見直した結果、従来の耐用年数よりも長期に利用可能であることが明らかになったため、第1四半期連結会計期間において、一律6年から6年～16年に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ33,191千円増加しております。

#### （会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第2四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した減価償却資産については、改正後の法人税法に規定する減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

### （4）追加情報

#### （会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

#### （退職給付引当金）

退職給付一時金制度及び適格退職年金制度を採用していた一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より退職給付一時金制度及び中小企業退職金共済制度を併用した制度に移行し、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」（企業会計基準適用指針第1号）を適用しております。

これに伴い、当第2四半期連結累計期間において退職給付制度改定益15,729千円を特別利益に計上しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,913,422	4,615,363
受取手形及び売掛金	8,927,493	9,510,938
有価証券	300,000	2,302,905
商品及び製品	1,241,084	1,356,954
仕掛品	27,591	31,145
原材料及び貯蔵品	6,811	6,178
繰延税金資産	132,748	142,283
その他	1,302,629	913,865
貸倒引当金	△52,188	△55,472
流動資産合計	17,799,592	18,824,164
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	898,709	1,206,926
減価償却累計額	△589,565	△607,826
建物及び構築物(純額)	309,144	599,099
機械装置及び運搬具	150,346	155,863
減価償却累計額	△130,426	△138,178
機械装置及び運搬具(純額)	19,919	17,684
工具、器具及び備品	196,417	200,790
減価償却累計額	△171,289	△168,850
工具、器具及び備品(純額)	25,128	31,939
貸与資産	2,065,597	2,037,374
減価償却累計額	△1,690,464	△1,679,807
貸与資産(純額)	375,132	357,567
土地	2,861,525	2,888,630
建設仮勘定	182,602	7,752
有形固定資産合計	3,773,453	3,902,674
無形固定資産		
のれん	31,731	23,798
その他	54,853	66,939
無形固定資産合計	86,585	90,738
投資その他の資産		
投資有価証券	1,292,565	1,397,702
長期預金	500,000	500,000
繰延税金資産	15,945	15,171
その他	333,786	307,050
貸倒引当金	△154,858	△133,708
投資その他の資産合計	1,987,438	2,086,216
固定資産合計	5,847,476	6,079,629
繰延資産		
開業費	1,362	713
繰延資産合計	1,362	713
資産合計	23,648,431	24,904,507

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,697,208	9,287,288
短期借入金	80,000	80,000
未払法人税等	252,507	458,297
その他	1,607,052	1,415,245
流動負債合計	10,636,768	11,240,830
固定負債		
繰延税金負債	12,906	25,942
退職給付引当金	58,795	42,859
役員退職慰労引当金	143,601	156,889
再評価に係る繰延税金負債	207,252	184,661
その他	39,566	38,359
固定負債合計	462,121	448,713
負債合計	11,098,889	11,689,544
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,414,415	1,414,415
資本剰余金	1,300,391	1,300,391
利益剰余金	9,999,173	10,546,298
自己株式	△211,731	△211,828
株主資本合計	12,502,249	13,049,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,212	80,291
土地再評価差額金	269,380	291,971
為替換算調整勘定	△613,693	△550,149
その他の包括利益累計額合計	△266,100	△177,886
少数株主持分	313,392	343,572
純資産合計	12,549,541	13,214,962
負債純資産合計	23,648,431	24,904,507

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年5月31日)
売上高	15,963,851	20,066,204
売上原価	13,799,208	17,103,234
売上総利益	2,164,643	2,962,970
割賦販売未実現利益戻入額	23,533	14,066
割賦販売未実現利益繰入額	16,087	7,379
差引売上総利益	2,172,088	2,969,657
販売費及び一般管理費	1,742,160	1,859,792
営業利益	429,928	1,109,864
営業外収益		
受取利息	27,620	29,951
受取配当金	6,941	7,708
固定資産売却益	24,272	15,552
為替差益	—	25,663
不動産賃貸料	34,356	28,850
雑収入	14,820	22,442
営業外収益合計	108,011	130,169
営業外費用		
支払利息	1,036	735
為替差損	26,175	—
不動産賃貸費用	12,086	29,872
雑損失	1,266	2,160
営業外費用合計	40,564	32,768
経常利益	497,376	1,207,265
特別利益		
固定資産売却益	55	—
投資有価証券売却益	23,492	—
退職給付制度改定益	—	15,729
特別利益合計	23,547	15,729
特別損失		
固定資産除却損	—	3,290
投資有価証券評価損	8,831	—
特別損失合計	8,831	3,290
税金等調整前四半期純利益	512,092	1,219,704
法人税、住民税及び事業税	205,632	580,432
法人税等合計	205,632	580,432
少数株主損益調整前四半期純利益	306,460	639,271
少数株主利益	5,997	19,622
四半期純利益	300,462	619,648

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	306,460	639,271
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,247	1,208
土地再評価差額金	—	22,590
為替換算調整勘定	△47,549	75,619
その他の包括利益合計	△31,301	99,418
四半期包括利益	275,158	738,690
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	272,960	707,863
少数株主に係る四半期包括利益	2,198	30,827

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

- (4) セグメント情報等  
(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業機械	建設機械	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	12,725,698	3,222,595	15,948,293	15,557	15,963,851	—	15,963,851
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	12,725,698	3,222,595	15,948,293	15,557	15,963,851	—	15,963,851
セグメント利益	823,755	69,967	893,722	6,203	899,926	△469,997	429,928

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険の代理店業を行っております。

2. セグメント利益の調整額△469,997千円は、各セグメントに帰属していない当社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業機械	建設機械	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	17,684,420	2,363,217	20,047,637	18,566	20,066,204	—	20,066,204
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	17,684,420	2,363,217	20,047,637	18,566	20,066,204	—	20,066,204
セグメント利益	1,368,276	109,277	1,477,554	5,393	1,482,947	△373,083	1,109,864

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険の代理店業を行っております。

2. セグメント利益の調整額△373,083千円は、各セグメントに帰属していない当社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。